

若手協会員の活躍を支援

関東支部＜全体協議会で事業計画等承認＞

若手協会員の活躍を支援

水コン協 全体協議会で事業計画等承認
関東支部

全国上下水道コンサルタント協会関東支部（支部長＝菅原一孝・日本水工設計取締役）は5月21日、都内で第15回通常全体協議会を開いた。昨年度の事業・決算報告や今



菅原支部長

年度の事業計画・予算案、役員選任について審議し、いずれも承認した。また、議事終了後には会長表彰と功績賞の支部表彰を行った。

冒頭、菅原支部長は「1月の八潮市における道路陥没事故を受けて上下水

道施設の老朽化問題が注目を集めることとなり、水コンサルタントが果たすべき役割はますます大きくなっていると感じている。変革期を迎える事業環境のなか、山積する課題に対応するには会員各社それぞれの取り組みはもちろん、協会活動を通じて会員間の連携や活動成果の各社へのフィードバックが重要」と呼びかけた。

昨年度は支部幹部や委員長・副委員長ら12班の要望班が支部管内の60事業体に対する要望提案活動を行い、事業体の抱える課題やコンサルタントへの要望について意見交換を行った。人材育成・確保に向けてはマンホール、ヒューマンエラー対策をテーマに技術講習会、上下水道施設での現場研修・見学会を実施。大学生への上下水道コンサルタントのPR活動も行った。災害対策支援として、関東ブロックにおける情報伝達訓練や災害時支援協定都市と連携した訓練を実施したほか、山梨県と災害時における下水道施設の技術支援協力に関する協定を締結した。

今年度は基本方針として、コンサルタントの就業環境改善、改正品確法を踏まえた円滑な災害時対応の実現、コンサルタントの技術力向上や健全な発展に向けた施策の実施や、業務の品質確保・向上に向けた配慮を発注者に要望する。また、時代の変化に対応し、発注者の多様な要望に応える秀でたコンサルタントの育成と次代を担う優れた人材の確保に取り組むほか、支部の重点施策を支援するための広報戦略を検討する。

このうち人材育成・確保に向けた新たな重点施策として、若手協会員の成長や活躍を支援するための「青年共創委員会」を創設する。また、管路再構築技術や生成AIをテーマに技術講習会を開催するほか、コンプライアンス講習会や現場技術研修会、施設見学会、若手社員研修会等を実施するとした。

支部表彰では会長表彰を受賞した東洋コンサルタントと、4人の功績賞受賞者に表彰状が贈られた。